

健康局

Health Service Bureau

部局の所掌分野

予防・健康づくり

健康寿命を延ばし、誰もがより長く元気に活躍できる社会を目指して、生活習慣病予防等を推進しています。企業や地域と共に、国民の皆様へ健康的な食事や運動、定期的な健診・検診の受診を心がけていただけるよう予防・健康づくりの取組を支援しています。

受動喫煙対策

他人の喫煙によりたばこから発生した煙にさらされることを「受動喫煙」といいます。望まない受動喫煙を防止し、国民の皆様へ健康増進につながるよう、対策を進めています。

がん対策

我が国の死因の第1位で、生涯のうちに2人に1人がなるとされている「がん」は国民の生命と健康にとって重大な疾病です。そのため、がんの克服を目指して、がんに関する正しい知識を持ち、避けられるがんを防ぐことや、いつでもどこにいても、安心かつ納得できるがん医療を受けられるようにすること、また、尊厳をもって暮らしていくことができるようにすることを目標に取組を進めています。

難病対策等

治療法が確立していない希少な病気の克服や、移植医療の推進、ハンセン病に対する偏見差別解消に向けた取り組みによって、誰もが希望をもつことができる共生社会の実現を目指しています。

感染症対策

国境を越えて人類を脅かす感染症から国民の皆様を守るため、検疫体制の強化、予防接種や治療薬の研究開発の推進、抗菌薬の適正使用等に取り組んでいます。

かけがえのない命と健康を守り、支える

Our Mission

少子高齢化が進行する中で、人生100年時代を見据え、誰もがより長く元気に活躍できるようにするとともに、社会保障の担い手を確保するため、予防・健康づくり、がん対策や循環器病対策、難病対策などに取り組んでいます。また、国内外の感染症から国民の命を守るため、先頭に立って対策を行っています。

政策紹介

ずっと健康でいられる社会の実現に向けて

子どもから高齢者まですべての国民がともに支えあいながら希望や生きがいを持ち、健やかで心豊かに生活できる社会を目指して、健康づくりに取り組んでいます。

2040年までに健康寿命を男女ともに75歳以上に伸ばすことを目標に、健康診断や自然に健康になれる食環境づくり、受動喫煙対策など、あらゆる側面から取組を行っています。また、国や自治体だけでなく様々な企業や団体も巻き込みながら社会全体で健康づくりを行う「スマート・ライフ・プロジェクト」を推進しています。

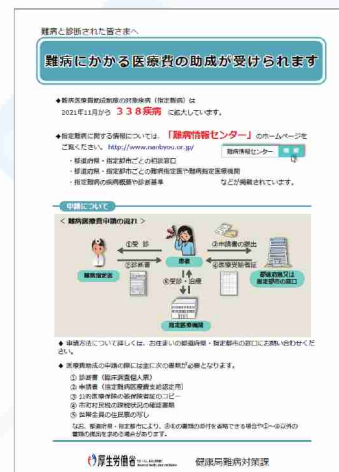


「スマート・ライフ・プロジェクト」ロゴマーク

難病を克服し、誰もが安心して生活できる社会へ

難病は、一定の割合で発症することが避けられず、国民の誰しもが発症する可能性があります。政府として、難病の患者とその家族の方々を支援するために難病対策を推進しています。

患者の方々が難病の克服を目指し、長期にわたり療養生活を送りながら安心して生活できるように、難病治療に対する医療費助成や、医療提供体制の充実、難病の調査研究、難病に関する正しい知識の普及啓発等に取り組んでいます。



難病医療費助成制度

新型コロナウイルス感染症を含む感染症への対応

突発的に発生する感染症に対して、いのちを守るために先頭に立って危機管理対応を行っています。新型コロナウイルス感染症については、あらゆる方々が不自由な生活を余儀なくされ、日々健康が脅かされています。このような事態に対処するため、ワクチン接種、検査、治療薬等の普及による予防、発見から早期治療までの流れの強化等に取り組んでいます。具体的には、自治体や企業をはじめとする関係団体とともに、新型コロナウイルス感染症に対するワクチン・治療薬の確保・開発支援、ワクチンの円滑な接種の実施、検査体制の拡充、保健所の体制強化、医療提供体制の維持・確保などに取り組んでいます。



新型コロナウイルスワクチン接種の様子



感染防止の取組み

Hot Topics

PHRの推進

PHR（パーソナル・ヘルス・レコード）とは、生まれてから学校、職場など生涯にわたる自身の健診などの情報を、スマートフォン等で閲覧できる仕組みです。PHRにより自身の健康情報を把握することで、個人が主体的に予防・健康づくりに取り組むことが期待されます。また、民間PHR事業者との連携によって個人のニーズに沿った効果的な保健医療サービスが提供できる環境整備に取り組んでいます。

ナッジを活用したがん予防

ナッジ理論は、「行動に至るきっかけ」を提供することにより選択の余地を残しながらもより良い方向に人を誘導するという、行動経済学で研究されている理論です。より多くの人にがん検診を受診していただけるように、このナッジ理論を用いたより効果的な普及啓発に取り組んでいます。



がん検診受診率50%に向けたイメージキャラクター「けんしんくん」



受診率向上施策ハンドブック(第2版)